

第44回全国障害者技能競技大会

<114>ビルクリーニング競技 事前公表課題

禁止事項

- 1 競技時間中に他人から指導や助言を受けてはいけません。
- 2 他の選手やスタッフの妨害をしてはいけません。
- 3 競技時間に遅刻、及び競技時間中に許可なく席を離れてはいけません。
- 4 故意に備品や機材等を毀損させてはいけません。
- 5 その他、大会運営や競技実施に支障をきたす恐れがある行為等をしてはいけません。

一般的な注意事項

<共通>

- 1 課題は、課題1「カーペット床清掃」と課題2「弾性床清掃及び机上清掃」の2課題です。また、競技コートは4コートを使用するため、競技の順番は、前日のオリエンテーションの抽選会によって決定します。課題1の「カーペット床清掃」、課題2の「弾性床清掃及び机上清掃」は、抽選会によって決定したそれぞれの順番通り実施します。
- 2 どちらの課題も、作業面積は、16 m² (4×4m) とし、幅木による区画とし、幅木の上には、壁があるものとして作業を行ってください。
- 3 作業場所にある机は、移動させないでください。
- 4 2課題とも次の規定時間が定められています。

- ① 課題1 7分 で打ち切り ② 課題2 10分 で打ち切り

なお、両課題とも残り時間が次の時間になったところでアナウンスします。

- ① 課題1 2分 ② 課題2 3分

また、規定時間を超えたところで打ち切りとします。打ち切りとなった競技者は、

競技委員の指示に従ってください。

- 5 各課題とも作業開始の指示は競技委員が行ないます。競技者は、挙手または「は

じめます」と申告して、4 (A・B・C・D) コート同時にスタートしてください。

競技が終了したら挙手または「終わりました」と申告してください。また、作業

ごとの入退出を行う際には、会釈(軽く挨拶や礼)をしてください。競技中

は上記以外の声は出さないでください。

※ 始めと終わりの申告は、声を出すことが困難な場合は、挙手のみで構いません。

- 6 課題において椅子を机の上にあげる際は、安全に配慮した形で上にあげてください。

- 7 作業終了後、競技時間を発表します。競技時間の発表は、4コートの全選手

が終了した段階で各コート順次発表しますので、先に作業を終了した

競技者は、スタートラインに戻り、すべての競技者が終了するまで、そのまま

待機してください。

- 8 両競技では、支給された資機材以外は使用できません。

- 9 使用した資機材は、競技委員の指示に従って後片付けを行ってください。

- 10 競技の採点は、作業準備・作業動作(手順)・仕様誤り・作業態度・作業時間

の5つの面から審査し、加点方式により行います。

- 11 ^{きょうぎしや}競技者は、^{ほんきょうぎ}本競技に^{てき}適した^{ふくそう}服装をしてください。

＜課題1 カーペット床清掃＞

- 1 床の材質は、繊維系の床面とします。
- 2 作業は、掃除機によるカーペット床の除塵作業です。
- 3 床のごみは、「シュレッターで裁断した紙」とし、50ml程度をまいたものとします。

※競技で使用するポット型掃除機は、掃除機のノズル(ブラシ)の部分から空気の流れを利用してごみを吸引し空気を排気します。

＜課題2 弾性床清掃及び机上清掃＞

- 1 床の材質は、塩化ビニール系の長尺シートの床面とします。
- 2 作業は、床面の除塵・拭き・ごみ処理及び机上拭き作業です。
- 3 本課題で使用する資機材・消耗品は、作業用カートに載せてありますので、不足なものがないか点検し使用してください。
- 4 モップの柄は、長さが調節できるので、作業前に適切な長さに競技者自身で調節してください。
- 5 乾式モップ用のクロスは、競技者が作業前に乾式モップヘッドに取り付けてください。
- 6 クロスを装着した乾式モップヘッドは作業カート上部、モップの柄は作業カートの所定の位置にそれぞれ競技開始前にセットしてください。
- 7 床のごみは、「おがくず」とし、50ml程度をまいたものとします。

※両課題ともごみの量は50ml程度を使用しますが、コート全体にごみがあるものと考え競技を行ってください。

【資機材一覧】

1. 競技会場に準備されているもの

(1) 課題1

品名	寸法又は規格	数量
作業表示板		1 個
真空掃除機	ポット型 リンレイ RD エコ2型	1 台
機	ビルクリーニング技能検定資機材に準拠	1 台
イス	パイプ式折りたたみ	1 脚
ゴミ箱	角型	1 個

(2) 課題2

品名	寸法又は規格	数量
作業用カート	ビルクリーニング技能検定資機材に準拠	1 台
作業表示板		1 個
ワンタッチモップ柄	ワンタッチアルミ伸縮柄	1 本
ラーグ (モップ房)	260 g 白色	1 個
小型ぼうき	30cm幅用	1 本
乾式モップヘッド	63cm	1 個
文化ちりとり	ビルクリーニング技能検定資機材に準拠	1 個
タオル	無地 水拭き用 (青色) 1 枚 無地 から拭き用 (白色) 1 枚	2 枚

ダスタークロス	69cm幅の不織布	1枚
ビニール袋	ごみ箱用替袋	1枚
つくえ 机	ビルクリーニング技能検定資機材に準拠	1台
イス	パイプ式折りたたみ	1脚
ごみ箱	角型	1個

2. 選手が持参するもの

品名	寸法又は規格	数量
きぎょうぎ 作業着（上・下）		1着
きぎょうぼうまた 作業帽又は三角巾		1個
きぎょうぐつ 作業靴		1足

*持参するものは上記のものに限るが、同一品目のものを予備として持参することは差し支えない。

課題1 カーペット床清掃（作業時間：7分）

作業仕様（課題1）

作業工程	作業方法	補足事項	備考
資機材の準備	- 作業に必要な資機材は、すでに会場に準備されている。 - 真空掃除機には、ウォンドと吸込口がセットしてある。 - 作業標示板は既に所定の位置に立ててある。	- 必要な資機材及び数量は、資機材一覧を参照すること。 - 資機材が過不足無く準備されているか点検し、異常があれば申し出る。	資機材の点検終了後、係員の指示に従い所定の位置に立つ。
競技開始の挨拶	競技委員の始めの合図で所定の位置に立ち、「はじめます」と挨拶を行い、競技を開始する。	片手を挙げ、一礼する。	作業開始を申告する。
作業準備	真空掃除機を保管場所から作業場所の近くへ移動し、コードを外し、プラグをコンセントに差し込み、始動点検を行う。	吸込口に手をあて、風量があるか点検する。	
入室の挨拶	入口にて、室内に向かって入室の挨拶を行う。	「失礼します」と一礼して入室する。	
除塵作業（真空掃除機）	- 真空掃除機を使用し、外から入口を除塵し、入室する。 - 室内での作業手順は、カーペット床作業手順（13ページ）のとおり行う。 - ゴミ箱は、持ち上げて除塵する。 - 前進しながら除塵する。 - 作業が終了したら掃除機を室内より出してプラグを抜く。	- 入口のごみを踏まないように広めに足場を確保する。 - 吸込口を床に強く押しつけない。 - イスを手前に引き出し、机の下の除塵を行い、元に戻す。 - 掃除機本体は、手で持って移動する。 - プラグを持って抜く。	ゴミは、シュレッターで裁断したものを50ml程度均等にまいてある。 掃除機のコードを持って抜かない。

てんけん 点検	ゆびさ また もくしてんけん おこな 指差し又は目視点検を行 う。	しきざい もど わす 資機材の戻し忘れ、 ごみの取り残しがな いか点検する。	こえ だ 声を出さない こと。
たいしつ あいさつ 退室の挨拶	でぐち しつない む 出口にて、室内に向かって たいしつ あいさつ おこな 退室の挨拶を行 う。	しつれい とう 「失礼しました」等 いちれい たいしつ と一礼して退室す る。	
しきざい かたづ 資機材の片付け	しんくうそうじき ま 真空掃除機のコードを巻 き、しんくうそうじき ほかんばしよ に戻す。		
しゅうりょう あいさつ 終了の挨拶	しよてい い ち た 所定の位置に立ち、 しゅうりょう あいさつ おこな 終了の挨拶を行 う。	お とう 「終わりました」等 い しひょうじ おこな の意思表示を行 う。	さぎょうしゅうりょう 作業終了を しんこく 申告する。

課題2 弾性床清掃及び机上清掃（作業時間:10分）

作業仕様（課題2－1）

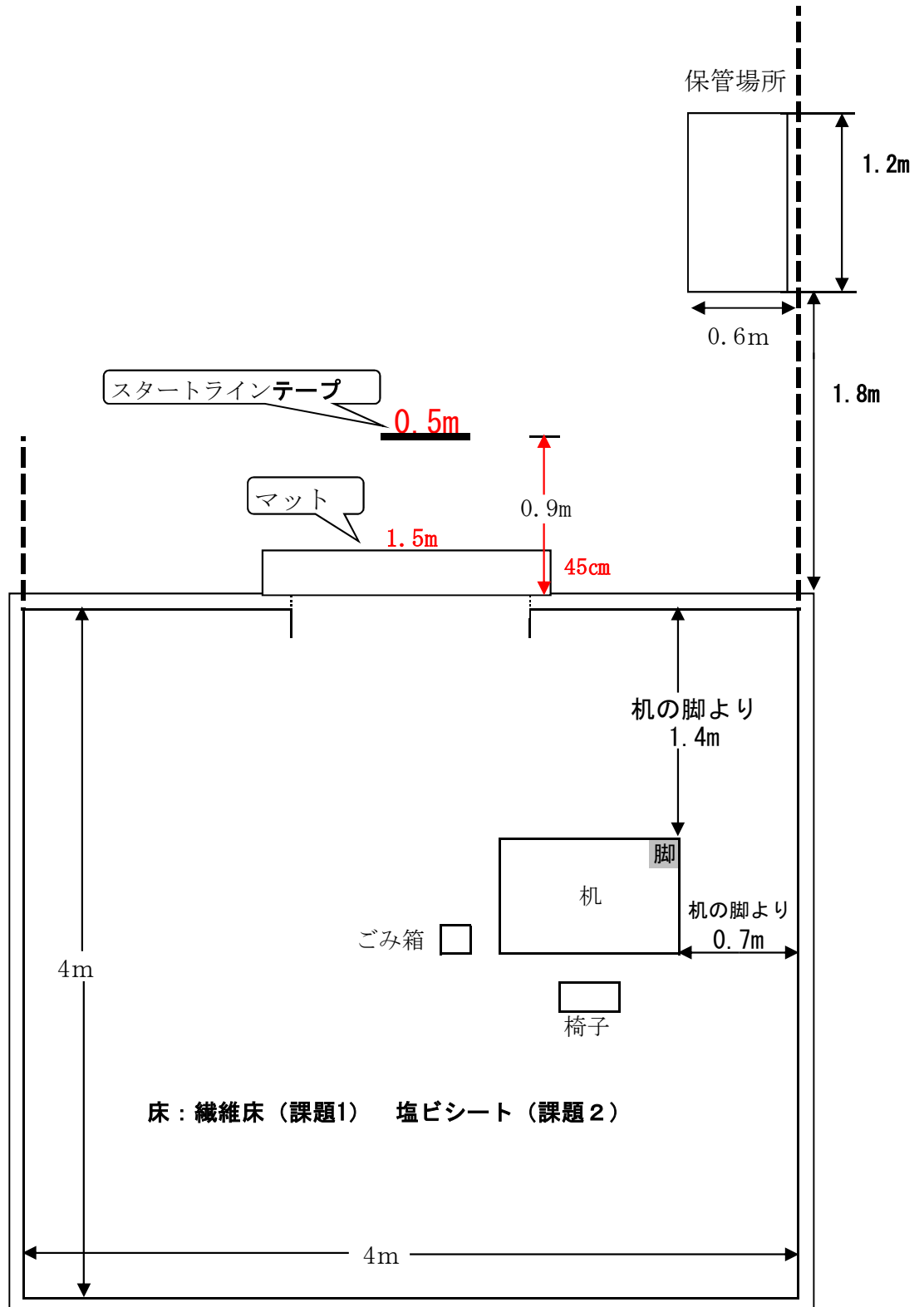
作業工程	作業方法	補足事項	備考
資機材の準備	・作業に必要な資機材（タオル・モップ等）は、すでに作業カート（以下カート）上部に準備されている。 ①ワンタッチモップ柄（以下柄）の長さを調整し、カートの所定の場所にセットする。 ②ダスタークロスを乾式モップヘッド（以下ヘッド）に装着し、カート上部に置く。	・必要な資機材及び数量は、資機材一覧を参照すること。 ・資機材が過不足なく準備されているか点検し、異常があれば申し出る。	資機材の点検終了後、係員の指示に従い所定の位置に立つ。
競技開始の挨拶	所定の位置に立ち、競技委員の始めの合図で「はじめます」と挨拶を行い、競技を開始する。	片手を挙げ、一礼する。	作業開始を申告する。
作業準備	カートを保管場所から作業場所の近くへ移動し、作業表示板を立てる。		
入室の挨拶	入り口にて、室内に向かって入室の挨拶を行う。	「失礼します」と一礼して入室する。	
イス上げとゴミ処理 (1)イスを上げる (2)ゴミの回収 (3)ゴミ袋のセット	①作業前にイスを机上に上げる。 ②ゴミ箱にセットされているビニール袋を回収する。 ③回収したビニール袋をカートの袋の中に入れる。 ④ビニール袋の替袋を取り出し、ゴミ箱にセットする。 ⑤ゴミ箱を机上に上げ	・机は動かさない。 ・イスは机からはみ出さないように正しくのせる。 ・ビニール袋を正しくセットする。 ・ゴミ箱は机からはみ出さないように正しくのせる。	

	る。		
じょじんさぎょう 除塵作業 (乾式モップ)	①ダスタークロスを 装着した乾式モップ ヘッドは入口の養生 マットの上でモップの 柄に取り付ける。 ②乾式モップで、外から 入口を除塵し、入室 する。 ③室内での作業手順 は、乾式モップ作業 手順 (14 ページ) のと おり行う。 ④ゴミは前進しながら 出口に向かって1箇所 に集める。 ④ ヘッドを柄から外 す。 ⑤使用済みのダスターク ロスをヘッドから外 し、カートの袋の中 に収納する。 ⑥柄とヘッドをカートに 戻す。 ⑦小型ぼうきと文化ちり とりを使用し、集めた ゴミを回収する。 ⑧ゴミの取り残しがない か点検する。 ⑨小型ぼうき、文化ちり とりをカートに戻す。	・柄の先端には親指 を添える。 ・ヘッドの辺は広い 方を先行させる。 ・入口のゴミを踏まな いように足場を 確保する。 ・ヘッドは、床から離 さない。 ・使用済みダスターク ロスはカートの袋 の中に入れる。 ・ゴミの取り残しがあ る場合は、小型ば うきと文化ちりと りを使用し回収す る。 ・ヘッドは、カート 上部に、スポンジ 面を上にして、 邪魔にならないよ うに置く。	ごみは、おが くずを 50ml 程度均等にま いてある。 点検の際に声 を出さないこ と。

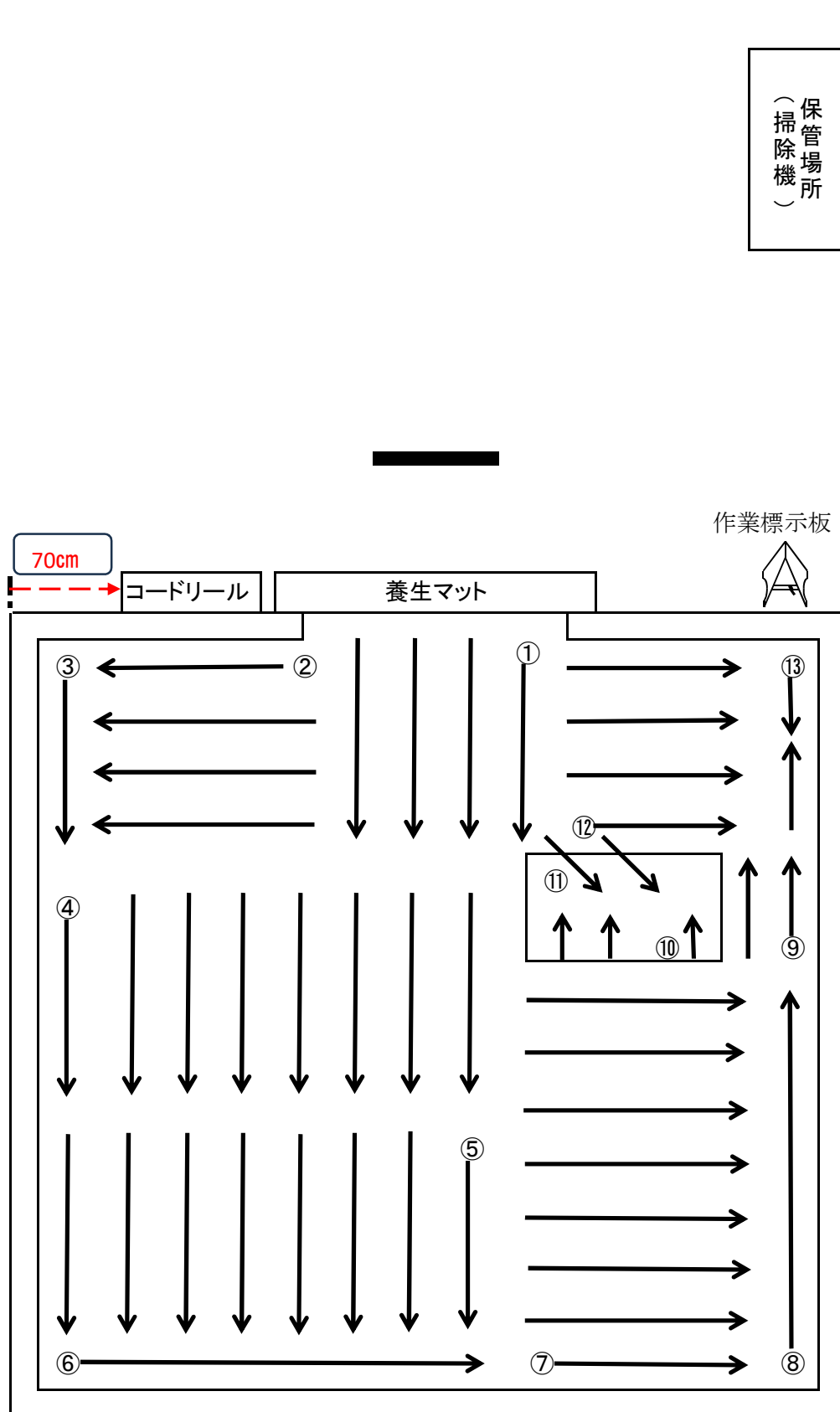
さぎょうしょう
作業仕様（課題2－2）

さぎょうこうてい 作業工程	さぎょうほうほう 作業方法	ほそくじこう 補足事項	びこう 備考
みずふきさぎょう 水拭き作業 (モップ)	① コート全体を拭く。 ② 室内での作業手順 は、水拭きモップ 作業手順（15ペー ジ）のとおり行 ^{おこな} う。 ③コーナー周り ^{まわ} と机 ^{つくえ} の 足元 ^{あしもと} は房糸 ^{ふさいと} に手 ^て を添 ^そ え て拭く。 ④モップは適宜裏返し、 モップ全体 ^{ぜんたい} を使 ^{つか} って拭 く。 ⑤モップは横拭きとし、 後退 ^{こうたい} しながら拭く。	・拭 ^ふ き残 ^{のこ} し、拭 ^ふ きむら のないようにす る。 ・柄 ^え の先端 ^{せんたん} には親指 ^{おやゆび} を添 ^そ える。 ・房糸 ^{ふさいと} が幅木 ^{はばき} 、机 ^{つくえ} の 脚部 ^{きやくぶ} に触 ^ふ れないよ うにする。 ・拭 ^ふ いたところを踏 ^ふ ま ないようにする。	
ごみ箱 ^{ごみ} とイス下 ^お ろし	あんぜん おと た 安全 ^{あんぜん} に音 ^{おと} を立て ^た ないよう に下 ^お ろす。	あし うえ お ・足 ^{あし} の上 ^{うえ} に落 ^お とさない ように注 ^{ちゅうい} 意 ^い する。	
きじょうふ 机上拭き	① 青色 ^{あおいろ} のタオルを八折 ^{はちおり} に して持 ^も つ。 ② 机 ^{つくえ} の上 ^{うえ} を青色 ^{あおいろ} のタオ ルで水拭き ^{みずふ} した後 ^{あと} に、 白 ^{はく} 色 ^{しよく} のタオルでから 拭き ^ふ を行 ^{おこな} う。	・タオルが汚 ^{よご} れたら、 きれいな面 ^{めん} を出 ^だ し て拭 ^ふ く。 ・机 ^{つくえ} の縁 ^{えん} を含 ^{ふく} めて、 四隅 ^{よすみ} から中 ^{ちゅう} 央 ^{おう} へ と拭 ^ふ く。 ・横拭き・縦拭きを 行 ^{おこな} う。	
てんけん 点検	ゆび さ また もくしてんけん 指差 ^{ゆびさ} し又 ^{また} は目視 ^{もくしてんけん} 点検 ^{てんけん} を 行 ^{おこな} う。	・資機材 ^{しきざい} の戻 ^{もど} し忘れ ^{わす} れ、 ゴミ ^{ごみ} の取 ^と り残 ^{のこ} しな どの点検 ^{てんけん} を 行 ^{おこな} う。	てんけん きい こえ 点検 ^{てんけん} の際 ^{さい} に声 ^{こえ} をださないこ と。
たいしつ あいさつ 退室 ^{たいしつ} の挨拶 ^{あいさつ}	でぐち しつない む 出口 ^{でぐち} にて、室内 ^{しつない} に向 ^む かっ て退室 ^{たいしつ} の挨拶 ^{あいさつ} を行 ^{おこな} う。	「失礼 ^{しつれい} しました」と 一礼 ^{いちれい} して退室 ^{たいしつ} する。	
しきざい かたづ 資機材 ^{しきざい} の片付 ^{かたづ} け	さぎょうひょうじばん 作業表示板 ^{さぎょうひょうじばん} をカートに 収 ^{しゅう} 納 ^{のう} し、カート ^{ほかん} を保管 ^{ほかん} 場所 ^{ばしよ} に戻 ^{もど} す。		
しゅうりょう あいさつ 終 ^{しゅうりょう} 了 ^{りょう} の挨拶 ^{あいさつ}	しよてい いち た 所定 ^{しよてい} の位置 ^{いち} に立 ^た ち、 終 ^{しゅうりょう} 了 ^{りょう} の挨拶 ^{あいさつ} を行 ^{おこな} う。	「お ^お わりまし ^{まし} た」等 ^{とう} の意 ^い 思 ^し 表 ^{ひょう} 示 ^じ を行 ^{おこな} う。	さぎょうしゅうりょう 作業 ^{さぎょう} 終 ^{しゅうりょう} 了 ^{りょう} を 申 ^{しんこく} 告 ^{こく} する。

標準配置図(モデル)

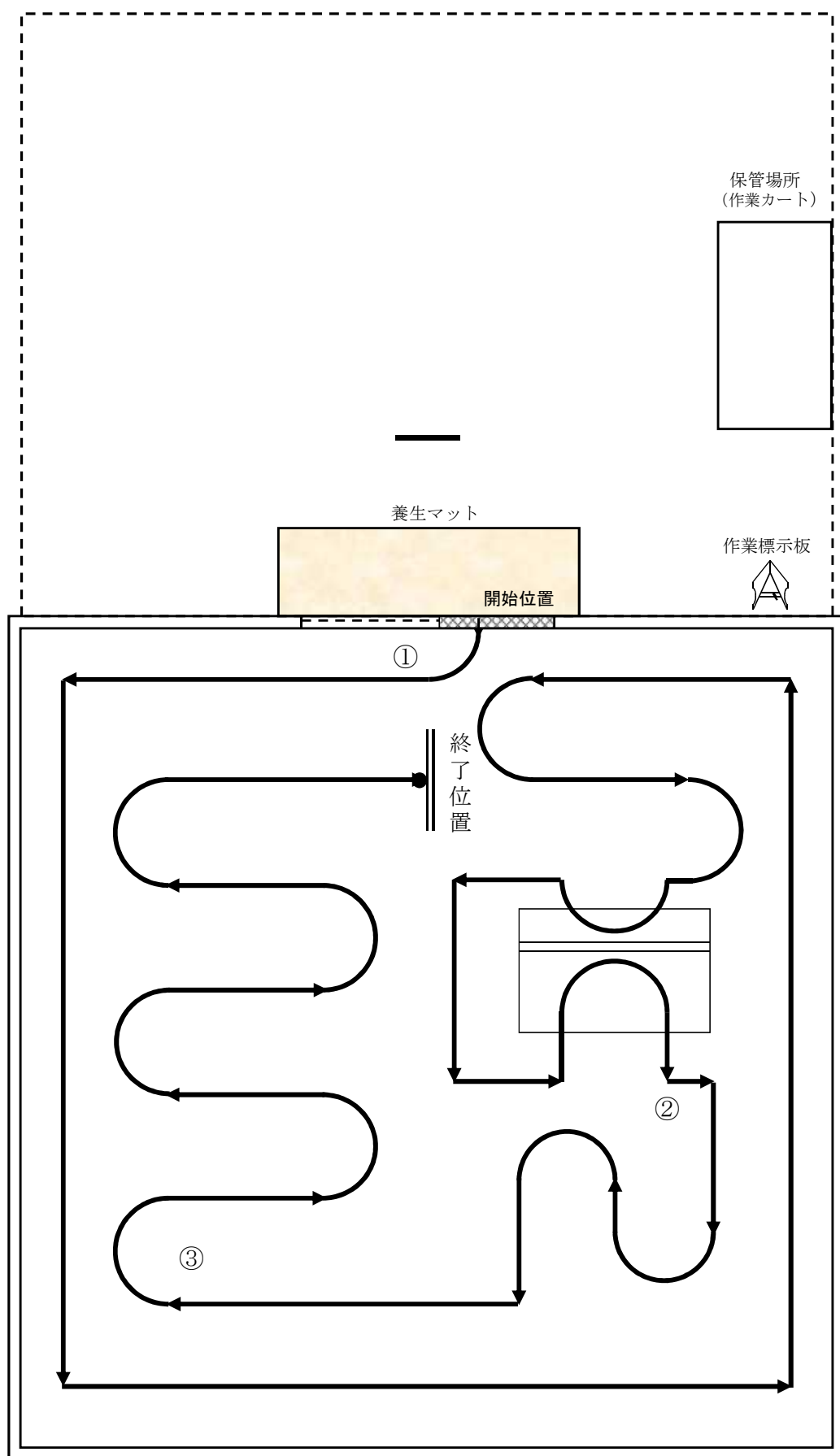


カーペット床作業手順



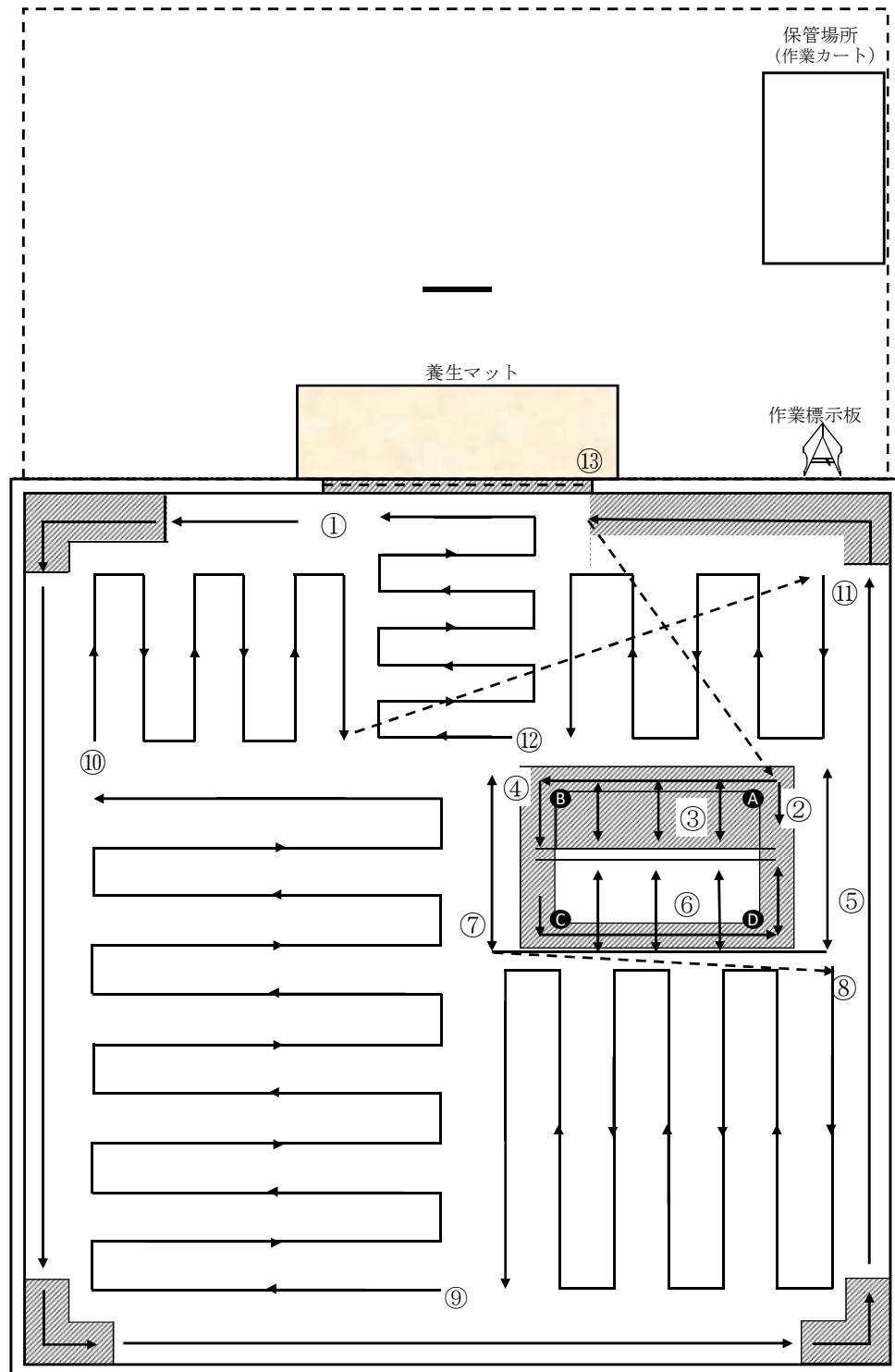
注: 作業の進行は①～⑬、吸引回数を入れたものではありません。

乾式モップ作業手順



注：乾式モップのヘッドを振る回数ではありません

水拭きモップ作業手順

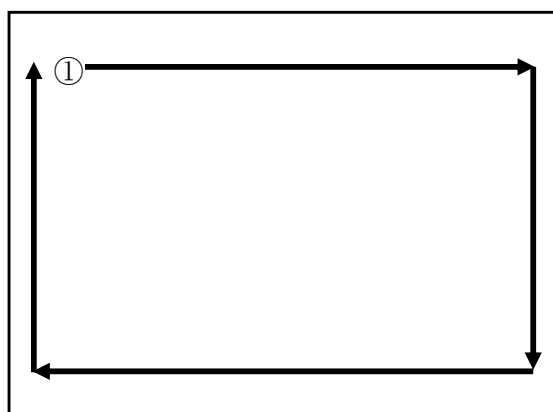


注：印は手を添える箇所を示す。 水拭き回数を入れたものではありません。

- ① 幅木側を1周すること。(コーナーは手を添えます)
- ② Aの脚周りを手を添えて拭く
- ③ 机の下を手を添えて拭く
- ④ B脚、C脚、D脚の順に脚回りを手を添えて拭く
- ⑤ 机の脇(壁側)を拭く
- ⑥ 机の下を手を添えずに拭く
- ⑦ 机の脇(入口側)を拭く
- ⑧～⑫ 拭きムラがないよう適切な間隔で拭く
- ⑬ 入口は手を添えて拭く

机上拭き作業手順

注：作業手順は右手でタオルを持つ人の例になります。左手で持つ人の場合は、左右を逆とした方法でも構いません。



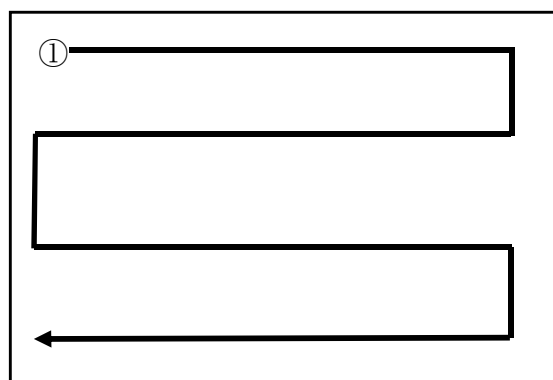
縁(机の4辺)の拭き方

※.選手は審査員に正対し動線図に示された場所に立つ(縦拭き・横拭きも同様)

①四角く、縁にそって拭きます。
(その際、テーブル、机の縁も拭きます。)



作業者の立位置



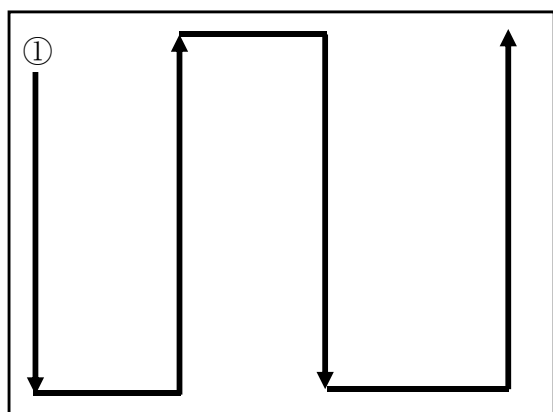
中央の拭き方

②横拭き：拭いていない中面を左右に拭きます。(このとき、拭きムラの無いように注意します。また、左右の動きにより、往復の回数が異なります。)

※.適宜タオルの面を変えながら拭く。



作業者の立位置



③縦拭き：拭き残しがないように中面を上下に拭きます。(このとき、拭きムラの無いように注意します。また、上下の動きにより往復回数は、異なります。)

④から拭きも同じように行います。

※.適宜タオルの面を変えながら拭く。



作業者の立位置